

東地申 第21号
11月22日 開催

「平成30年3月ダイヤ改正検証」の申し入れ (大崎運輸区)

(共通) 1. 五反田駅の停車時分が25秒では足りないため、40秒とすること。

(回答) 列車ダイヤの設定は、お客さまのご利用状況や車両運用、設備条件等を考慮して作成している。

主な議論

(組合) 五反田駅のお客さまのご利用状況について明らかにすると。

(会社) 五反田駅の利用状況が増加していることから会社として検証を行い次期改正に向けて見直していく考えである。

(組合) 私鉄との乗り換え階段等、お客様の導線は集中している。また、立ち番が廃止されたことから停車時分を40秒とすること。

(会社) この間も、山手線の停車時分については現場と意見交換を行い見直してきた。今後も引き続き調整を行っていく。

**確認 引き続き関係箇所と調整し
次期改正において見直しを図る!**

(運転士) 1. b速・c速の時間帯における新宿駅(内回り)での10号車・11号車付近に旅客が滞留するため、停車時分を60秒とすること。

(回答) 列車のダイヤ設定は、お客さまのご利用状況や車両運用、設備条件等を考慮して作成している。

主な議論

(組合) 10号車・11号車付近は徒列が凄く、ドア扱いに時間を要する。職場で検証を行い平均で約50秒がかかることから、停車時分を60秒とすること。

(会社) 利用状況について確認している。エレベーターなどがあり、実態調査を行ってきた。次期ダイヤ改正で検討する考えである。

(組合) お客さまの滞留についての対策を明らかにすること。

(会社) 状況を勘案し警備員等の配置をしていく。

(組合) 11月14日に発生した、ホームドア部品がお客さまと接触した事象についての対策を明らかにすること。

(会社) 現場とのヒヤリングを行い、運車部としては列車ダイヤの設定や出区などで対応していく。

(組合) 停車時分の増はお客さまの安全確保である。引続き実態把握を行い、検討すること。

(会社) 会社の調査方法は組合側と変わらないと認識している。

引き続き現場との意見交換を行い、調整を図っていくこと!

(車掌) 1. 行路数の削減が行われてきたことで、安全・健康・ゆとり・働きがいと保たれた行路が作成されていないため、行路数を増やすこと。

(回答) 列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

確認内容

(組合) 山手線は他線区の影響を受けやすく遅れが頻繁に発生する。異常時についてもゆとりのある列車ダイヤの設定が必要である。

(会社) 列車ダイヤの設定については、異常時ありきでの設定は困難である。規程に則り、可能な範囲で設定していく。

**現場との意見交換を実施し調整を行っていく!
乗務員をケアするため設備等の改善を図っていく!**

議論経過が守られているか全組合員で検証運動を強化していこう!!